

# 自治ひょうこ

1636号

2023. 9. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/秦 信昭

## 当面の日程

- 1~2日 県本部公企評総会及び公企集會 (ゆめ春来)
- 2日 県本部公共サービス民間労組協議会総会 (フルーツフラワーパーク)
- 13日 県本部労働学校実践編 (三田市キッピーモール)
- 16日 県本部臨職評定期総会 (神戸市教育会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920  
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

## シリーズ「一歩前へ」⑤

### 「2023 人事院勧告」 地方公務員の賃金は「交渉」で決まります!

8月7日に人事院は国家公務員(以下「国公」)の月例給、一時金ともに引き上げる勧告を行いました。人材確保の観点から特に若年層に重点的に配分し、そこから改定率を通減させる形で俸給表全体を引き上げることとなりました。

昨年の勧告では30歳代半ばまでの引き上げとなりましたが、今年は一足中高年層にも配慮した形となりました。しかし、物価高騰下

での組合員の厳しい生活実態を踏まれば、納得できるものではなく、特に、中高年層への配分は十分なものとは言えません。

勧告を巡っては、今後閣議決定から臨時国会での給与法改正という流れになり、それと並行しながら各自治体で賃金確定交渉を進めていくこととなります。

このように国公と自治体の内容どおりに妥結してしまいう例が多くあります。しかし、国公と自治体職員の給与比較で使われるラスパイレス指数には、地域手当(東京都特別区20%)や、国公のみに支給される本府省業務調整手当、広域移動手当等は比較対象とはなっていません。

また、比較対象となる国公の収入は私たちがはるかに高額となっており、このように国公と自治体の職員を比較する際には、私たちがはるかに高額の収入を得ていることを前提として、取り組みを進めていきましょう。

## 近畿地連スポーツ大会

# 突栗が全国大会出場へ 初出場の神戸交通労組は3位に

野球



全国大会出場を決めた突栗市職労



初出場の宝塚



特別敢闘賞の神戸交通 中崎選手



丹波先発の高橋投手

近畿地連スポーツ大会が7月31日から8月1日にかけて尼崎市内で開催され、野球、女子バレーボールともに8チームが熱戦を繰り広げた。野球では神戸交通労組が3位に、女子バレーボールでは突栗市職労が大健闘し準優勝となった。

野球大会へは兵庫から神戸交通労組と丹波市職労が出場。丹波は初戦に京都代表の八幡市職労と対戦。初回から失点が続く、9対0で惜しくも初戦で敗退となった。神戸交通は初戦で大阪代表の大阪市従と対戦。初回に1点を先取すると2回にも4点を追加。7対5で勝利し準決勝へ進出。準決勝は滋賀代表の東近江市職労と対戦。神戸交通は4回に3点を先取。5回にも2点を追加し、7対5で勝利した。決勝は豊中市職との対戦となり、第1セットは21対18で豊中に先取されたものの、第2セットは21対19で突栗が勝利。初戦で敗退した宝塚の仲間の熱い声援を背中にした高橋投手は、試合はフルセットまでもつれ込んだがものの力

## 猪名川町議選 井戸さんの必勝めざす 職場・地域の声を議会に

県本部は9月12日告示、17日投票で実施される猪名川町議会議員選挙に、現職の井戸真樹さんの推せんを決定している。



2期目をめざす井戸さん

井戸さんは自治労組織内議員として、職員が働きやすい職場環境の改善めざし、議会活動を行っている。今回2期目の挑戦となり、県本部は当該単組とともに取り組みを進めている。

## いまいち座

地球沸騰の時代



おやすみ漫

## しこう

私はスポーツ観戦が趣味の一つだ。この夏は、男子バレーボールとなでしこジャパンの試合が面白かった。特になでしこジャパンは、優勝したスペインに4対0で圧勝した。チームが強く

なる。私はやはり指導者がいいからだと思う。しかも、スポーツライターは、戦術だけでなく、技術とフィジカルや体幹の強さを含めた「個」の成長が大きいという。今回サッカー女子で初優勝のスペインの賞金は、一人当たり3800万円、大会総額240億円は、実に前回大会の3倍、2015年大会の10倍。トントン拍子に賞金が上がった。コロナやマイナンバー対策を少ない人数で頑張っている。人事院はいくら賃金アップすると勧告しましたか? 何倍でしたか? 物価上昇分ぐらいはアップした? 誰かのボヤキが聞こえてきそうである。「まあもうちょっとフィジカルと体幹を鍛えなあのかあ」

現業評議会総会

新議長に平瀬さんを選出

現業公企闘争に向け意志統一

県本部現業評議会総会と清掃・学校・一般現業の3部会の集会を7月28、29日、いこいの村はりまで開催し、20単組56人が参加した。大原猛現業評議会議長は「給食調理現場の空調設備の設置は進んでいるが、熱中症で搬送された事例もある。職場環境改善、会計年度の処遇改善も引き続き取り組んでいかなければならぬ。労働組合として次世代の育成に取り組んでいく」とあいさつした後、活動経過報告、活動方針、県市町振興課申入書の提起が

され参加者全体で承認。引き続き新役員体制、定年引上げに係る現業職場対応の特別決議、総会宣言が提起され、全体の拍手で確認し、平瀬勲新議長の団結カンパロウで総会を終了した。なお、新三役体制は議長に丹波篠山市職労の平瀬勲さんを、副議長に西村利弘さん(県職労)、大原猛さん(宝塚市職労)、時本昌明さん(加東市労連)の3人を、事務局長に神戸市従の松本賀仁さんを選出した。

総会後は小原王之県本部副委員長から「現業・公企から単組報告を受けた。統一闘争の取り組みについて記念講演を受け、県職労の中野佳典さん、神戸市従の正本堅士さん、宝塚市職労の中村芽久美さん、加東市労連の時本昌明さん、養父市職労の田村和生さんから単組報告を受けた。



議長に選出された平瀬さん

県本部人権研修会

多数派こそ意識の変革を

人権研修のあり方・活性化を考える

県本部は平和人権環境委員会が主催した人権研修会を県本部執行委員・専従役員を対象として7月25日にひょうご共済会館で開催した。近年、部落問題に関する職員研修が減少し、差別の現実や部落問題に対する正しい知識を学ぶ機会がない状態を受け、自治体での人権研修のあり方や活性化のために、昨年に引き続き、人権教育・ESDファシリテーターである栗本知子さん

講師に招き人権研修を行った。講師は「人権の守られた公正な社会を築くために」をテーマに説明し、マイノリティ(少数派)を「力を奪われた存在」と捉えるのではなく、マジョリティ(多数派)を「社会的属性によって力を付与された存在」と捉え、公正な社会を築くためには、マジョリティが変わらなければならないと指摘。また、「ワークショップ」



講師の栗本さん

歩前へ」では、参加者は様々な立場や境遇に置かれた人物になりきり、質問に対してどう感じるかを疑似体験するもので「自分とは異なる他者への共感を促進し、社会における機会の不平等についての意識を生じさせる」狙いがあり、参加者はあらためて、普段とは違う視点で人権に対する考え方、捉え方を学んだ。

反核平和の火リレー

平和の火を走り繋ぐ

核廃絶について考える機会に

昨年から再開した反核平和の火リレーは今年で37回目となり、7月28日に兵庫県庁前をスタートした。県庁前での出発集会では西田祐樹実行委員長(豊岡病院労組)が「リレーに先立ち『核兵器の存在と日本の軍備拡大』について学習会



県庁前での出発式

衛生医療評議会

全国の情報を共有 新役員体制を確認

県本部衛生医療評議会第8回定期総会を8月5日、神戸市教育会館をメイン会場にウェブ併用で開催し、13単組39人が参加した。主催者を代表して澤本明議長代行、青木久美子県本部副委員長のあいさつの後、平山春樹本部衛生医療評議会事務局長からは「新型コロナウイルス感染症が5類相当に引き下げられた後の、全国での防疫等作業従事手当の取り扱い」について交渉結果と改善事例、

「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な方針(案)」について、パブリックコメントへの取り組みに関する情報を参加者で共有した。総会は経過報告と活動方針を確認。役員改正案では議長に山根正也さん(伊丹病院労組)、副議長に澤本明さん(県職労)と前川和彦さん(たつの市労連、事務局長に澤田拓実さん(豊岡病院労組)を選出した。総会後は、原尾健作本部



原尾さんの講演

2021年11月改定版
特別な条例がない限り
禁錮刑以上で公務員は自動的に失職
交通事故で執行猶予が付いた場合も同じです。失職となれば日々の収入はなくなり、退職金も受け取れない可能性があります。
じちろうマイカー共済は 起訴前の弁護士費用を支払う特約を 在職者に標準付帯
組合経由の申し込みで 団体割引32.5%
2021年11月更新契約より(新規契約は2021年10月効力開始契約より)
自治労共済推進本部は「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。
全労済自治労共済本部資料より引用